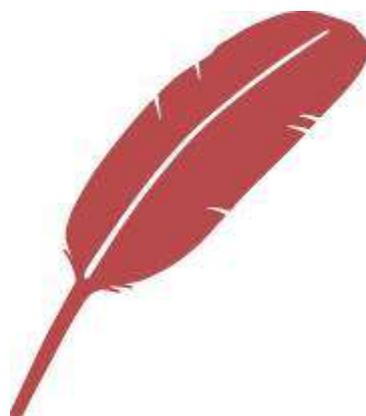


令和5年度事業報告書



社会福祉法人 長崎県共同募金会



令和5年度 事業報告

1. 事業総括

令和5年度の共同募金は、県民の皆様に支えられ、10月1日から3月末までの6か月間を運動期間として、第77回目の運動を展開いたしました。

本県において、昭和22年からこれまでに共同募金に寄せられた善意の寄付金は、142億9千万円に達しており、県内の民間社会福祉事業の充実、発展に大きな役割を果たしてきました。

本県の令和5年度の募金状況については、詳しくは下記に記載しますが、近年の募金を取り巻く厳しい状況にも拘わらず、本運動が一定の成果を収めることができたのは、県民各位の共同募金に対する温かいご理解と募金ボランティアの方々のご協力、また支会関係者のご尽力の賜と心から感謝申し上げます。

一方、助成の状況としては、地域福祉の担い手である社会福祉協議会への地域・在宅福祉事業費、民間社会福祉施設への施設・設備整備費、社会福祉団体、NPO法人への事業費として助成を行いました。

共同募金運動以外の事業としては、本会が推薦窓口となっている社会福祉事業に係る（公財）中央競馬馬主社会福祉財団助成金の推薦事務を通じて、社会福祉施設の整備促進に努めました。

2. 共同募金の実績と助成

県内の民間社会福祉事業を支援するため、県・市町社会福祉協議会、民間社会福祉施設、民間社会福祉団体等からの助成要望並びに県内の経済状況、前年度の実績額等を勘案し、理事会・評議員会の承認を受け、共同募金総目標額を260,000,000円（赤い羽根募金 210,000,000円、歳末たすけあい募金 50,000,000円）と定め、10月1日より赤い羽根募金、また12月1日より歳末たすけあい募金を展開した結果、181,377,902円（69.8%）の募金実績を収めることができました。

なお、これら県民から寄せられた寄付金は、配分委員会の審議、また理事会・評議員会の承認を経て、社会福祉協議会、社会福祉施設、社会福祉団体等に対して、総額139,260,172円の助成が決定されました。

（1）赤い羽根募金（運動期間：令和5年10月1日～令和6年3月31日）

- 1) 目標額 210,000,000円
- 2) 実績額 143,729,348円（目標額達成率 68.4%）
- 3) 助成額 102,499,000円（災害等準備金積立金・小災害見舞金を除く）

（助成額内訳）

ア. 市町社会福祉協議会（福祉事業費）	84,775,000円
イ. 赤い羽根号車両（市町社会福祉協議会）	1,390,000円
ウ. 長崎県社会福祉協議会（福祉事業費）	4,000,000円
エ. 社会福祉施設（施設整備費等）	4,070,000円
オ. 赤い羽根号車両（社会福祉施設）	1,780,000円

カ. 社会福祉団体（活動事業費）	3,010,000 円
キ. 更生保護施設（更生保護事業費）	840,000 円
ク. NPO法人等（テーマ募金）	2,634,000 円
ケ. 災害等準備金積立金	4,400,000 円
コ. 小災害見舞金	500,000 円



簡易テント（保育所 かたまち保育園・大村市）
（令和5年度助成）



ベビーカー（保育所 しらゆり保育園・長崎市）
（令和5年度助成）

この度、「赤い羽根共同募金」による助成を頂きありがとうございました。近年は猛暑が続いており、夏場だけでなく、春先から秋口にかけても子どもたちが野外で活動する機会がかなり制限されてきています。

そのような中、今回、助成を頂いたおかげで「簡易テント」を園庭に設置することができました。暑い中にも野外で遊べる機会が増え、子どもたちも大喜びです。

引き続き、熱中症対策など安全管理をしっかり行い、大切な子どもたちが健やかに、のびのびと、楽しく過ごせるよう取り組んで参ります。寄付をされた方々の善意に感謝しながら今後、大切に使用させていただきます。



ありがとうメッセージ(保育所 かたまち保育園・大村市)

(2) 歳末たすけあい募金（運動期間：令和5年12月1日～12月25日）

- 1) 目標額 50,000,000 円
- 2) 実績額 37,648,554 円（目標額達成率 75.3%）
- 3) 助成額 36,761,172 円

①地域歳末たすけあい募金（市町歳末たすけあい）

- ㊦実績額 30,280,250 円（市町支会）
- ㊧助成額 32,181,172 円（前年度助成原資を含む）

(助成額内訳)

ア. 市町社会福祉協議会の事業への助成

- ・在宅者への贈呈事業費 20,663,730 円
- ・在宅福祉サービス事業費他 11,487,442 円

イ. 火災等小災害見舞金 30,000 円

②一般歳末たすけあい募金

(NHK歳末たすけあい、長崎新聞社歳末たすけあい)

①実績額 7,368,304 円

②助成額 4,580,000 円 (災害等準備金積立金・小災害見舞金を除く)

(助成額内訳)

ア. 福祉車両助成	2,670,000 円
イ. 事業費の助成	
・社会福祉団体	800,000 円
ウ. 就職・進学支度金助成	1,110,000 円
エ. 災害等準備金積立金	1,000,000 円
オ. 小災害見舞金	1,000,000 円



就職・進学支度金贈呈
(児童養護施設)

この度は支援金を頂き、ありがとうございます。今は高校3年生が卒業後は進学を考えています。そこでは自分の学ぶ意欲と高校で学級委員や生徒会として身につけてリーダーシップを十分に発揮していきたいと思っています。その後は、小さい頃からの夢である救急救命士という人の命を助ける仕事に就き、人でも多くの人を救えるように勉強を頑張っていきます。また、周りを気遣い、常に信頼される人になることが目標でもあるので、人間性を磨き上げていきたいです。

就職・進学支度金助成ありがとうメッセージ
(高校卒業生・里親会)

(3) テーマ募金の実施

令和5年度においても、全国の共同募金会で、テーマ型募金等新たな手法による募金運動の取り組みとして、募金期間を10月から翌年3月までの6か月間とし、募金運動を展開いたしました。

本県は、テーマ募金(1月～3月)として取り組みを行い、令和5年度は県内の5団体が参加して実施しました。

各団体が、自らの活動を寄付者に周知し、その活動に必要な資金を赤い羽根

募金として呼びかけを行いました。

結果、2,769,533 円の寄付金が寄せられ、それぞれの団体の活動資金として助成を行います。

(4) 交付式の開催

共同募金の使途について、広く県民に理解していただくために、助成受領者の代表に対して、助成決定通知書の交付及び目録の贈呈を行いました。

1) 「赤い羽根募金助成決定通知書交付式」

期 日 令和 5 年 4 月 14 日
場 所 県総合福祉センター
参加者 助成受領社会福祉協議会、福祉施設、福祉団体代表者
内 容 助成決定通知書の交付



赤い羽根募金助成決定通知書交付式

2) 「歳末たすけあい募金助成決定交付式」

期 日 令和 6 年 2 月 26 日
場 所 県総合福祉センター
参加者 助成受領福祉団体、福祉施設等代表者
内 容 助成決定目録の贈呈

歳末たすけあい募金助成
決定交付式



3. 募金・広報活動

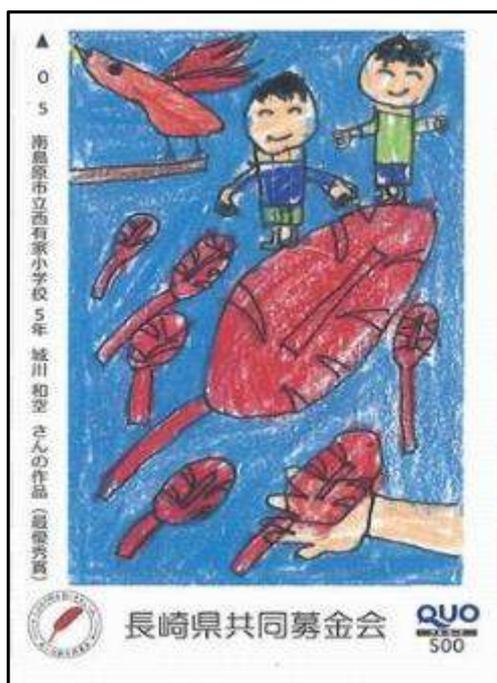
県民の共同募金運動に対する理解と協力を得るとともに、募金使途について周知を行うため、新聞広告をはじめ各種の広報活動、また街頭募金活動を展開しました。

(1) 赤い羽根「クオカード」デザイン募集

赤い羽根共同募金運動に対する理解を深め、運動の普及拡大と温かいすけあいの心の輪を広げるため、募金資材である「クオカード」のデザインを県内の小・中・高校の児童・生徒から募集し、最優秀作品1点をそのデザインとして採用しました。

- ・応募学校数：54校(小学校10校、中学校27校、高校17校)
- ・応募作品数：537点(小学校114点、中学校161点、高校262点)

☆最優秀賞	南島原市立西有家小学校	城川 和空様	(5年生)
☆優秀賞	南島原市立西有家小学校	草野 桃様	(5年生)
	佐世保市立大野中学校	尾崎 桃香様	(1年生)
	県立猶興館高校	眞崎 華子様	(2年生)
	県立波佐見高校	尾形 紫乃様	(2年生)



令和5年度

クオカードデザイン募集最優秀作品

城川 和空さん

(南島原市立西有家小学校5年)

(2) テレビ・ラジオによるスポット放映と放送

県内民間放送各社において、運動期間中のスポットの無料放映、また放送の協力を得ました。

(3) 「赤い羽根空の第一便」セレモニーの実施

ANAグループの全面協力により、厚生労働大臣、中央共同募金会会長メッセージの伝達式を長崎県庁、長崎空港において関係者出席のもと実施しました。

(4) 赤い羽根共同募金街頭募金の実施

10月1日、共同募金運動が始まったことを県民にアピールするため、県内各地で街頭募金を実施しました。

長崎市浜町で行った街頭募金は、例年共同募金会長崎市支会と本会の共催で行っていますが、この街頭募金には、サッカーJ2のV・ファーレン長崎から、クラブマスコットのヴィヴィ君と、プロバスケットボールB1リーグの長崎ヴェルカから、クラブマスコットのLUCAと、チアリーダーの長崎ヴェルカチア&ダンサーズの皆さんに参加いただきました。

なお、例年募金期間中に、県内各地で街頭募金や各種イベント活動を行っていますが、令和2年度から4年度までは、コロナの影響で対面での募金活動を自粛する支会が多く、募金活動に大きく影響を受けておりましたが、令和5年度においては、各地域でコロナ感染防止に配慮しながら取り組んでいただいたこともあり、街頭募金やイベント募金で実績額が前年度より増額となっています。



赤い羽根空の第一便伝達式

(令和5年10月2日・長崎県庁)



赤い羽根空の第一便伝達式

(令和5年10月1日・長崎空港)





長崎県共同募金会 森会長（右側）と、
長崎市支会長 鈴木長崎市長（真中）も
参加

（令和5年10月1日・長崎市浜町）

（5）サッカーJ2「V・ファーレン長崎」の協力

V・ファーレン長崎の協力を得て、クラブ
マスコットの「ヴィヴィくん」をデザインし
たバッジを作成しました。

このバッジについては、募金のお礼に差し
上げることとし、本会のホームページに協力
依頼を掲載、またホームグラウンドの「トラ
ンスコスモスタジアム長崎」において、V・
ファーレン長崎の試合前に、「ヴィヴィくん
バッジ」による募金活動を行い、多くのサポ
ーターの方よりご協力をいただきました。

なお、この募金活動については、ホーム試
合の1試合で行いましたが、共同募金会諫早
市支会の協力を得ての実施となりました。



本会が作成した「ヴィヴィくんバッジ」
（4,000個作成）



(6) プロバスケットボールB1リーグ「長崎ヴェルカ」の協力

長崎ヴェルカの協力を得て、クラブマスコット「LUCA」をデザインしたバッジを作成しました。

このバッジについては、募金活動に使用するとともに、本会ホームページに募金バッジ協力依頼を掲載しました。

また、バッジ募金活動については、長崎市内でのホーム試合開催時に、長崎県立体育館において、共同募金会長崎市支会が主体となり、

「LUCA バッジ」を使用した「カプセルトイ」を設置のうえ、ブースターの方々にご協力をいただきました。



本会が作成した「LUCA バッジ」
(4,000 個作成)

(7) 歳末たすけあい募金街頭募金の実施

12月1日、歳末たすけあい運動が始まったことを県民にアピールするため、長崎市内で本会関係及び浜市主婦の会の協力を得て街頭募金を実施しました。

なお、街頭募金への寄付者に対し、障害者施設から提供いただいた花の苗 200鉢を配布いたしました。

今回も、V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのご協力をいただき、ヴィヴィくん、LUCAのマスコットと、長崎ヴェルカチア&ダンサーズの皆様に参加いただきました。



歳末たすけあい街頭募金

(令和5年12月1日・長崎市浜町)



また、長崎市内の長崎南山高等学校、長崎精道小・中学校においては、本年度も長崎市浜町で街頭募金を実施していただきました。

学校関係以外には、浄土宗青年会の方々による街頭募金を実施されました。



長崎南山学園生徒会

(令和5年12月14・15日・長崎市浜町)



長崎精道小・中学校ボランティア委員会

(令和5年12月22日・長崎市浜町)



浄土宗青年会

(令和5年12月7日・長崎市浜町)

(8) 歳末たすけあい運動の一環によるみかん寄贈

長崎西彼農業協同組合女性部長与支部の協力により、毎年長崎市近郊の福祉施設に対し、みかんを寄贈していただいております。

今回は、児童養護施設等3施設に対し、総数で10箱が寄贈されました。

○贈呈施設

- マリア園（児童養護施設）
- 三和みのり園（障害者支援施設）
- 老友荘（養護老人ホーム）



(9) 法人からの寄付金の受入れ

令和5年度においては、赤い羽根募金に対して、県内の法人より寄付が寄せられました。

1) ふくおかフィナンシャルグループからの寄付金

ふくおかフィナンシャルグループ（取締役会長 柴戸隆成）様では、傘下4銀行（福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行、みんなの銀行）において、私募債を発行された企業の皆様から頂く収益金の一部をSDGsに貢献する団体等へご寄付されており、このたび令和4年度発行された私募債の収益を共同募金にご寄付いただくこととなり、令和5年8月29日に長崎県総合福祉センターにおいて贈呈式が行われました。



贈呈式・長崎県総合福祉センター（長崎市）

(10) 県内小学校への壁新聞の配布

県内全小学校の児童に対する共同募金への理解促進のため、支会の協力を得て、中央共同募金会作成の壁新聞を配布しました。

(11) 新聞への広告掲載

共同募金の前年度実績報告、令和5年度の募金協力依頼等を10月1日付の長崎新聞に掲載しました。

令和5年度
運動期間 10/1
赤い羽根共同募金運動
共同募金へご協力をお願いします。

令和5年度目標金額 **260,000,000**円

赤い羽根募金	被災地支援募金
210,000,000円	50,000,000円

子育て支援や児童虐待防止のために
子どもたちの安全を守るために
ハンディキャップをお持ちの方々の生活のために

災害で孤立をなくすために
親道回帰のために (withコロナ)
地域ごと災害時の被災者のために

社会福祉協議会の災害救援
被災者の被災後支援活動
児童虐待防止のための相談活動
児童虐待防止のための相談活動
児童虐待防止のための相談活動

赤い羽根共同募金は、ひとりひとりの誰かの助けになりたいという「たすけあいの心」が、たくさんの「ありがとう」につながる運動です。今年も皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

社会福祉法人 **長崎県共同募金会**
〒850-8104 長崎市渡辺町3番24号 長崎県共同募金センター内
TEL: 095-948-8992 FAX: 0957-946-4955 URL: <http://www.akahone-nagasaki.or.jp>

長崎新聞広告

(令和5年10月1日紙面)

(12) 各世帯向けチラシ（報告書）等の配布

県内2銀行（十八親和銀行、長崎銀行）と、1企業の広告協賛を得て、募金への協力依頼及び前年度の運動結果を掲載したチラシ214,000枚を作成し、支会等を通じて県内の各世帯、法人、学校等に配布し、募金への協力依頼並びに共同募金への理解促進に努めました。

なお、企業等法人に対しては、法人向けパンフレット、募金趣意書を作成のうえ配布いたしました。

(13) 市町社会福祉協議会等の広報紙による広報

市町社会福祉協議会が発行する社協だより等に、募金への協力依頼並びに運動結果を掲載いただきました。

また、助成施設、団体等においても、それぞれが発行する機関紙等に募金の使途明示を行っていただきました。

(14) 運動ポスター、のぼり等の掲示及び設置

運動用ポスターやのぼりを各支会に配布し、自治会の掲示板等に掲示、またのぼりの設置を行いました。

また、令和5年度は、長崎県庁のご協力により、庁舎に共同募金の横断幕を設置し、広報活動に努めました。



令和5年度共同募金運動ポスター



庁舎に設置した横断幕
(長崎県庁)

(15) 本会ホームページの運用

I Tを活用した情報提供活動、共同募金運動活性化促進策の一環として、本会のホームページを運用し、募金の使途を紹介する等、共同募金に関する情報提供に努めました。

[ホームページ] <http://www.akaihane-nagasaki.or.jp>

(16) 赤い羽根募金自動販売機の設置推進

平成 20 年度から募金推進の取り組みとして、寄付金付きの赤い羽根共同募金支援自動販売機の設置推進を図っており、県市町社会福祉協議会、福祉施設、民間企業等の協力を得て、令和 6 年 3 月 31 日現在 50 台の自動販売機が県内に設置されております。

令和 5 年度の自動販売機による寄付金は、総額で 1,501,186 円でした。

4. 火災等小災害見舞金の交付

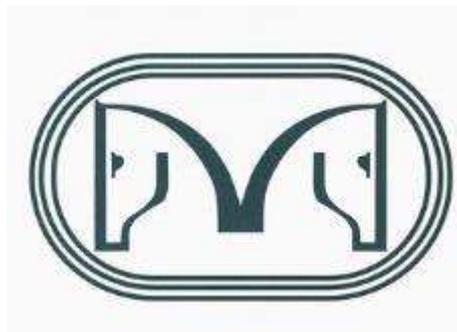
県内の火災等による被災者に対して、「長崎県共同募金会小災害見舞金給付要綱」に基づき、支会を通じて見舞金、弔慰金を交付しました (42 件 510,000 円)。

5. 民間助成事業への協力

県内の民間社会福祉施設等の整備を図るため、本会が窓口となり、関係機関と協議を行い、その推薦業務を行いました。

(1) (公財) 中央競馬馬主社会福祉財団

1) 令和 5 年度助成決定 6 件 6,710,000 円



6. 顕彰の実施

「長崎県共同募金会顕彰規程」に基づき、共同募金運動に功労のあった方々の顕彰を行うとともに、中央共同募金会に対し、被表彰者の推薦を行いました。

(1) 「長崎県共同募金会顕彰規程」による顕彰

募金運動に功績のあった個人、団体に対して、共同募金会市町支会を通じて顕彰を行いました。

1) 会長顕彰

- | | |
|----------|---------------|
| ①篤志寄付者 | (個人・法人・団体 35) |
| ②奉仕功労者 | (個人・団体 7) |
| ③優良支会・地区 | (地区 8) |

(2) 「令和5年度全国社会福祉大会」(令和5年11月15日 東京都)

全国社会福祉大会において、本会推薦の個人及び団体が、中央共同募金会会長の表彰を受けられました。

1) 中央共同募金会会長表彰

- | | |
|----------|--------|
| ①奉仕功労者 | (個人 2) |
| ②優良地区・団体 | (団体 1) |

7. 令和5年度赤い羽根 新型コロナウイルス感染下の

福祉活動支援助成

中央共同募金会及び都道府県共同募金会においては、令和2年度に取り組んだ全国キャンペーンが、助成先団体、寄付者等より高く評価されたことから、継続した支援を行うこととし、新型コロナウイルスの影響下における福祉活動応援という枠組みを維持しつつ、コロナ状況を盛り込んだテーマとして、本会では「赤い羽根 新型コロナウイルス感染下の福祉活動支援」を設定し、令和4年度も継続して実施することとなりました。

本会では、令和2年度より新型コロナウイルスの感染下において、地域の子供たちや家族、高齢者、障がい者の方々等、日常生活に困難を抱える方々を対象に、生活課題解決のため活動している団体を資金面から応援してきましたが、新型コロナウイルスの影響が長期化する中、環境の悪化等により、さまざまな生活課題が顕在化してきていることから、民間の相談支援活動、食支援や居住支援、居場所を失った人など、いのちに関わる課題に対して取り組む活動を中心に支援を行うため、中央共同募金会から提供された資金をもとに公募による助成を行いました。

なお、助成申請の締切りについては、令和5年6月30日と設定し、その後に本会の配分委員会を開催し、それぞれの団体に対する助成が決定しました。





子ども食堂による食事提供事業

8. 「篠原欣子記念財団 こども食堂応援プログラム」

中央共同募金会を通じた「篠原欣子記念財団」からの寄付金を原資として、「こども食堂」を支援するための助成を行いました。

1) 寄付金の寄贈

①寄付金総額 495,000 円

2) 助成先

①県内のこども食堂 7 団体



まんぷく子ども食堂（諫早市）

木風ふれあい食堂（佐世保市）

